

様式第 2 号（政務活動実施報告書）

令和 5 年 7 月 2 5 日

井原市議会議員

三宅 文雄 様

井原市議会議員 山下 憲男

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実 施 期 間	令和 5 年 7 月 11 日～12 日
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	7 月 11 日 東京都市ヶ谷防衛省 7 月 12 日 東京都小平市田中美術館
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	防衛省視察及び小野田紀美政務官要望活動 小平市田中美術館の運営等について視察研修
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	要望の概要；小野田紀美政務官へ 9 名の議員の連名で要望活動 小平市田中美術館学芸員；藤井 明氏より運営状況の説明
5. 活 動 内 容	別紙のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後 2 週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



行政視察所感報告

小平市平櫛田中彫刻美術館視察研修（令和5年7月12日）

令和5年7月17日：山下憲雄

明治、大正、昭和を彫刻一筋で歩まれた平櫛田中翁が 98 歳から十年間暮らした小平市の「小平市平櫛田中彫刻美術館」を訪ねた。

この美術館は、昭和 59 年に平櫛田中翁の旧宅を公開して「小平市平櫛田中館」として開館したものである。その後、平成 17 年に遺族から作品の寄贈を受けたことを機に、平成 18 年 4 月に館名を「小平市平櫛田中彫刻美術館」へ変更し、現在に至っている。旧宅の庭には、美術館のシンボルでもある彫刻用のクスノキの原木がおかれている。この木は田中翁が 100 歳の時に購入されたという。木は切ってすぐには彫刻材として使えない。20 年ぐらいの歳月をかけて乾燥させる必要があるというから、使えるところに田中翁は 120 歳にもなるであろう。100 歳を超えても衰えることのない彫刻への意欲が「60や70ははなたれ小僧 男さかりは百から百から」の言葉の納得度を高めてくれた。

旧邸を視察して田中翁の寝室や愛用品、ゆっくりと眺めたであろう庭の木々、当時のアトリエなど晩年を暮らした住居に田中翁の人間像に思いが膨らむ。今回の視察は「百聞は一見に如かず」の諺の通り、田中翁の若い時から晩年の作品まで歴史の流れにそって鑑賞できた。このことによって偉大なる田中翁に対する理解が一層深まり、「百見は一考に如かず」の説くところに従い井原市の新装なった「平櫛田中美術館」の活かし若い人への伝承のしかた、井原市の観光資源としての活用などについて役立てられるよう一考してゆきたい。

山下憲雄